

リンパ腫グループ：古典的ホジキンリンパ腫 治療開発マップ

2026.03.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 / 適応外薬
限局期 臨床病期 I 縦隔バルキー病変なし 臨床病期 II	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ABVD(4コース) +領域照射(30 Gy)  </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> 予後不良因子がない場合 ABVD(2コース) +領域照射(20 Gy) </div> </div>		<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">HD10 (LYSA/EORTC/FIL) NCT00265018</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">RAPID (NCRI) NCT00943423</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">HD16 (GHSG) NCT00736320</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">RADAR (UCL) NCT04685616</div>	
進行期 縦隔バルキー病変あり 臨床病期 II 臨床病期 III 臨床病期 IV	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ABVD (6, 8コース) 部分奏効例では、 残存部位に照射(30Gy)を追加 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> BV-AVD (6コース) 60歳以下 ABVD 2コース後 中間 PET陰性 ABVD療法4コース 中間 PET陽性 増量BEACOPP6コース </div> </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> JCOG1305 ABVDによる寛解導入 中間 PET陰性群 ABVD療法継続 中間 PET陽性群 増量BEACOPP 2015.11 ~ 2020.2 2030.2 レイサマリーJCOG1305  </div>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">BV+AVD vs. ニボルマブ+AVD (SWOG) NCT03907488</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">BEACOPP vs. BrECADD (GHSG) NCT02661503</div>	
再発	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> 65歳以下 救援化学療法および 自家末梢血幹細胞移植 併用大量化学療法 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> 66歳以上 救援化学療法  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;">BV</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> ニボルマブ、 ペムプロリズマブ </div> </div>			

ABVD (ドキシソルピシン、プレオマイシン、ピンプラスチン、ダカルバジン) AVD (ドキシソルピシン、ピンプラスチン、ダカルバジン)
 BEACOPP (プレオマイシン、エトポシド、ドキシソルピシン、シクロホスファミド、ピンクリスチン、プロカルバジン、プレドニゾン)
 BV (ブレンツキシマブ・ベドチン)

領域照射療法：治療前に病変があった領域のみに照射する方法

中間 PET：治療中間でのPETによる画像診断





救援化学療法：初回治療後の再発または治療抵抗性患者に対して行う化学療法

予後不良因子：縦隔バルキー病変の存在、節外病変の存在、血沈亢進 (B症状なしの場合 $\geq 50\text{mm}/\text{時間}$ 、B症状ありの場合 $\geq 30\text{mm}/\text{時間}$)、3カ所以上の病変の存在

リンパ腫グループ：濾胞性リンパ腫 (Grade1-3A)

治療開発マップ

2026.03.

対象		標準治療		JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 / 適応外薬
限局期		領域照射 (24-30 Gy) (照射適応外では進行期に準じた治療方針) 				
進行期	低腫瘍量	リツキシマブ 	無治療経過観察	JCOG0203 R-CHOP-21 vs R-CHOP-14 第II/III相試験 2002.9 2007.2	JCOG1411 無治療経過観察 vs. リツキシマブ早期介入 第III相試験 2016.12 2023.3 2028.3 レイサマリー-JCOG1411 	リツキシマブ・ヒアルロニダーゼ
	高腫瘍量	オビヌツズマブ併用化学療法 ¹⁾ リツキシマブ併用化学療法 ¹⁾ (奏効例にオビヌツズマブ/リツキシマブ維持療法) 				
再発	リツキシマブ併用化学療法 ²⁾ オビヌツズマブ併用化学療法 ¹⁾		リツキシマブ		モスネツズマブ+レナリドミド vs. リツキシマブ+レナリドミド療法 第 相試験 (中外製薬)	リツキシマブ・ヒアルロニダーゼ アキシカブタゲンシロルユーセル
	二重特異抗体 モスネツズマブ エブリタマブ	CAR-T細胞療法 チサゲンレクルユーセル リソカブタゲン マラルユーセル			アキシカブタゲンシロルユーセル vs. 標準療法 第 相試験 (ギリアド)	
	タファシタマブ+R2	領域照射	造血幹細胞移植		ザヌブルチニブ+オビヌツズマブ vs. レナリドミド+リツキシマブ 第 相試験 (BeOne)	
	無治療経過観察					

領域照射：治療前に病変があった領域のみに照射する方法

R-CHOP (リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキシゾリン、ピンクリスチン、プレドニゾン)

R2 (リツキシマブ、レナリドミド)

1) 化学療法：CHOP, CVP (シクロホスファミド、ピンクリスチン、プレドニゾン) またはベンダムスチン

2) 化学療法：GHOP, CVP, ベンダムスチンまたはレナリドミド

phase I/II試験については記載しておりません

リンパ腫グループ：びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 治療開発マップ（DLBCL）若年者 2026.03.

対象 病期 国際予後指標		標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬
初発	リスクなし	R-CHOP（4コース）	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">R</p> <p>JCOG2201 CNS再発 高リスク例に対する再発 予防のランダム化第III相 試験</p> <p>2023/12~</p> </div>	<div style="border: 2px solid gray; padding: 5px;"> <p>Non GCB DLBCLに対する R-CHOP +/- アカラルチニブの ランダム化第III相試験 (アストラゼネカ) (75歳以下)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">R-CHOP +/- エブコリタマブのランダム化第III相試験（ジェンマブ/アツヴィ）</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">Pola-R-CHP +/- グロフィタマブのランダム化第III相試験（中外・ロシュ）</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">オドロネクスタマブ+CHOPとR-CHOPのランダム化第III相試験（リジェネロン）</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">R-CHP+ジロベルタマブドチンとR-CHOPのランダム化第III相試験（MSD）</div> </div> </div>	<p>アントラサイクリンが不適格患者に対するエブコリタマブ単剤またはレナリドミド併用療法の第II相試験（ジェンマブ）</p>
	全リスク	R-CHOP（3コース） + 領域照射			
	低中～高リスク	R-CHOP（6～8コース） (JCOG0601) ポラツズマブドチン +R-CHP（6コース）			
	低リスク	R-CHOP（6～8コース） (JCOG0601)			
	低中リスク	ポラツズマブドチン +R-CHP（6コース） (80歳以下)			
	中高リスク	ポラツズマブドチン +R-CHP（6コース） (80歳以下)			
再発 全病期/全リスク	中高リスク	ポラツズマブドチン +R-CHP（6コース） (80歳以下)	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p>JCOG0908 自家末梢血幹細胞移植 ランダム化第II相試験 2010/6～2015/2</p> </div>	<div style="border: 2px solid gray; padding: 5px;"> <p>Golcadomide +/- R-CHOP のランダム化第III相試験（BMS）</p> <p>R-CHOP +/- タファシタマブ+レナリドミドのランダム化第III相試験（インサイト・バイオサイエンス・ジャパン）</p> <p>アキシカプタゲンシロルユーセルと標準治療のランダム化第III相試験（ギリアド）</p> </div>	
	高リスク	救済化学療法およびASCT併用大量化学療法 BR±ポラツズマブドチン モスネツズマブ+ポラツズマブドチン エブコリタマブ CAR-T細胞療法 チサゲンレクルユーセル* アキシカプタゲンシロルユーセル*, ** リソカプタゲンマラルユーセル*, **	<div style="border: 2px solid gray; padding: 5px;"> <p>救済化学療法とエブコリタマブの第III相試験（アツヴィ）</p> <p>エブコリタマブ+レナリドミドとR-GemOxの第III相試験（アツヴィ）</p> <p>ツシジノスタート・リツキシマブの第II相試験（Meijiファルマ）</p> <p>ロンカスツキシマブ・テシリンの第II総試験（田辺）</p> <p>ロンカスツキシマブ・テシリン+リツキシマブと免疫化学療法の第III相試験（田辺）</p> <p>rapcabtagene autoleuclの第I/II相試験（ノバルティス）</p> </div>	<div style="border: 2px solid gray; padding: 5px;"> <p>グロフィタマブ+GemOxとR-GemOxの第III相試験（中外）</p> <p>オドロネクスタマブの第II相試験（REGENERON）</p> <p>オドロネクスタマブと化学療法の第III相試験（REGENERON）</p> <p>タファシタマブ+レナリドミドの第II相試験（インサイト・バイオサイエンス・ジャパン）</p> </div>	<p>セリネキサ</p> <p>オドロネクスタマブ</p> <p>グロフィタマブ</p>

R-CHOP（リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキシソルピシン、ピンクリスチン、プレドニゾロン）、Pola-R-CHP（ポラツズマブドチン、リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキシソルピシン、プレドニゾロン） 領域照射：治療前に病変があった領域のみに照射する方法
*：初発では2回以上、再発では再発後に化学療法を1回以上施行し、完全奏効が得られなかった又は完全奏効が得られたが再発した場合で自家造血幹細胞移植（ASCT）の適応とならない又はASCT後に再発した患者に限る。 ** 初回治療不応または初回治療から12ヶ月以内に再発した場合。


リンパ腫グループ：びまん性大細胞型B細胞リンパ腫 治療開発マップ (DLBCL) 高齢者 2026.03.

対象 病期 国際予後指標		標準治療	JCOG試験	他組織の試験			主な未承認薬/ 適応外薬
初発	限局期	R-CHOP (3コース) + 領域照射	JCOG2201 CNS再発高リスク例 再発予防第III相試験 ポラツマブ ベドチン + R-CHP療法 髄腔内投与 vs. ポラツマブ ベドチン + R-CHP療法 髄腔内投与 R-大量メトトレキサート療法 2023/12~	Non GCB DLBCLに対する R-CHOP +/- アカラブルチニ ブのランダム化 第III相試験 (アストラゼネ カ) (75歳以下)	アントラサイク リンが不適格患 者に対するエプ コリタマブ単剤 またはレナリド ミド併用療法の 第II相試験 (ジェンマブ)	モスネツズマ ブ単剤の第II 相試験 (中 外・ロシュ)	全量化学療 法不適格患 者に対する pola-R-グロ フィタマブ の第II相試験 (オーストリア、ドイツ)
	進行期	低リスク 低中リスク 中高リスク 高リスク		R-CHOP (6~8コース) (JCOG0601)	R-CHOP +/- エプ コリタマブのラン ダム化第III相試 験 (ジェンマブ/ アツヴィ) Pola-R- CHP +/- グロフィ タマブのラン ダム化第III相 試験 (中 外・ロ シュ) オドロネクス スタマブ+ CHOPとR- CHOPのラン ダム化第III相 試験 (リジェ ネロン) R-CHP+ジ ロベルタマ ブとR-CHOP のランダム 化第III相試 験 (MSD) 80歳以上に對 するPola-R- miniCHPとR- miniCHOPの第 III相試験 (Nordic lymphoma group) Golcadomide +/- R-CHOP の ランダム化第III 相試験 (BMS) R-CHOP +/- タファシタマブ+レナリドミドのラン ダム化第III相試験 (インサイト・バイオサイエンス・ ジャパン) アキシカブタゲンシロルユーセルと標準治療の ランダム化第III相試験 (ギリアド)	セリネキサ	
再発	全病期/全リスク	救援化学療法 BR±ポラツマブベドチン モスネツズマブ+ポラツマブベドチン エプコリタマブ CAR-T細胞療法 チサゲンレクルユーセル* アキシカブタゲンシロルユーセル*, ** リソカブタゲンマラルユーセル*, **	救援化学療法とエプコリタマブの 第III相試験 (アツヴィ) エプコリタマブ+レナリドミドと R-GemOxの第III相試験 (アツヴィ) ツシジノスタット・リツキシマブの第 II相試験 (Meijiファルマ) ロンカスツキシマブ・テシリンの 第II総試験 (田辺) ロンカツキシマブ・テシリン +リツキシマブと免疫化学療法の 第III相試験 (田辺) rapcabtagene autoleucelの 第I/II相試験 (ノバルティス)	グロフィタマブ+GemOxとR-GemOx の第III相試験 (中外) オドロネクススタマブの第II相試験 (REGENERON) オドロネクススタマブと化学療法の第III 相試験 (REGENERON) タファシタマブ + レナリドミドの 第II相試験 (インサイト・バイオサイ エンス・ジャパン)	オドロネクススタマブ グロフィタマブ		

R-CHOP (リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキソルピシン、ビンクリスチン、ブレドニゾロン)、
 Pola-R-CHP (ポラツマブベドチン、リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキソルピシン、ブレドニゾロン) 領域照射：治療前に病変があった領域のみに照射する方法
 *：初発では2回以上、再発では再発後に化学療法を1回以上施行し、完全奏効が得られなかった又は完全奏効が得られたが再発した場合で自家造血幹細胞移植 (ASCT) の適応とならない又はASCT
 後に再発した患者に限る。 ** 初回治療不応または初回治療から12ヶ月以内に再発した場合。

リンパ腫グループ：マントル細胞リンパ腫

治療開発マップ 2026.03.

	対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 / 適応外薬
初発 / 未治療	限局期 臨床病期 I non-bulky II	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">領域照射</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">リツキシマブ併用 化学療法+領域照射</div> </div>			
	若年進行期 (65歳以下) 臨床病期 II 臨床病期 III 臨床病期 IV	リツキシマブ+シタラピン大量療法を含む化学療法/自家移植 JCOG0406 (R-HiCHOP/CHSER/LEED) R維持療法		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ベンダムスチン+リツキシマブ/シタラピン +/-アカラブルチニブ (EA4181, 第II相試験)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">寛解導入療法によるPET-/MRD-患者での自家移植有無 (EA4151, 第III相試験)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">R-CHOP+イブルチニブ/R-DHAP (自家移植) イブルチニブ維持療法 (TRIANGLE試験, European MCL Network)</div>	R-CHOP+イブルチニブ/R-DHAP 自家移植 イブルチニブ維持療法
	高齢進行期 (66歳以上) 臨床病期 II 臨床病期 III 臨床病期 IV	R-CHOP+R維持療法 VR-CAP ベンダムスチン+リツキシマブ ±イブルチニブ or アカラブルチニブ 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ベンダムスチン+リツキシマブ vs ザヌブルチニブ+リツキシマブ 第III相試験 (BeiGene)</div>	
再発		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">イブルチニブ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">アカラブルチニブ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">イブルチニブ+ベネトクラクス</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ビルトブルチニブ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">救援化学療法</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ボルテゾミブ ±リツキシマブ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">造血幹細胞移植</div> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">グロフィタマブ (中外製薬, GLOWING試験)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ビルトブルチニブ vs イブルチニブ/アカラブルチニブ/ザヌブルチニブ 第III相試験 (LOXO oncology)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">プレクスカブタジェンアウトユーセル (CAR-T細胞療法, Gilead/Kite)</div>	レナリドミド ザヌブルチニブ リソカブタゲン マラルーセル

自家移植：自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法
 領域照射：治療前に病変があった領域のみに照射する方法
 R-CHOP (リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキシソルピシン、ビンクリスチン、プレドニゾン)
 CHASER (シクロホスファミド、シタラピン、エトポシド、デキサメタゾン、リツキシマブ)
 LEED (メルファラン、シクロホスファミド、メスナ、エトポシド、デキサメタゾン)
 VR-CAP (ボルテゾミブ、リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキシソルピシン、プレドニゾン)
 R-DHAP (リツキシマブ、デキサメタゾン、シタラピン、シスプラチン)



リンパ腫グループ：成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL） 治療開発マップ 2026.03.

対象		標準治療		JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 /適応外薬	分類
くすぶり型	症候なし	無治療経過観察					インドレントATL
	症候あり	無治療経過観察	皮膚病変を有する場合 局所治療あるいは ベキサロテン	JCOG1111C インターフェロン/ジドブジン vs. 無治療経過観察 第III相試験 2013.9 ~ 2018.3 2025.3			
慢性型 (予後不良因子なし)							
急性型・リンパ腫 型・慢性型 (予後不良因子あり ¹⁾)	初発	多剤併用化学療法 ²⁾ ±モガムリズマブ ³⁾ ±プレッツキシマブベドチン ⁴⁾ ±同種造血幹細胞移植 ⁵⁾	モガムリズマブ 併用CHOP-14 療法 ⁶⁾ (66歳以上、移植 を希望しない156歳 以上)	JCOG0907 同種移植 単アーム 第III相試験 2010.9 ~ 2020.6 2023.6 レイサマリ-JCOG0907	移植後シクロホスファミドを用いた 非血縁者間末梢血幹細胞移植の安全 性・有効性を検討する第II相試験 (国立がん研究センター中央病院他)		アグレッシブATL
急性型・リンパ腫 型・慢性型 (予後不良因子あり ¹⁾)	再発・ 治療抵抗性	救援化学療法±同種造血幹細胞移植 ⁵⁾	モガムリズマブ ³⁾		ニボルマブ 第 相試験 (鹿児島大学他)	Taxを標的とする樹状細胞ワクチン療法 第II相試験 (九州がんセンター他) ⁹⁾	
		プレッツキシマブベドチン ⁴⁾			ゴルカドミド第II相試験 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ)	ロベグインターフェロン アルファ-2b第II相 試験 (ファーマエッセンシアジャパン)	
		レナリドミド			アミノレプリン酸塩I/II相試験 (JIMRO) ⁹⁾		
		ツシジノスタット					
		パレメトスタット					
		ベキサロテン ⁷⁾					

1) 予後不良因子を有する慢性型；慢性型ATLのうち、予後不良因子 (BUN > 基準値上限、LDH > 基準値上限、アルブミン < 基準値下限) いずれかを有するもの
2) VCAP-AMP-VECPが推奨される：VCAP (ピンクリスチン、シクロホスファミド、ドキソルピシン、プレドニゾロン)、AMP (ドキソルピシン、ラニムスチン、プレドニゾロン)、VECP (ビンデシン、エトポシド、カルボプラチン、プレドニゾロン)
3) ATL細胞がCCR4陽性の場合 4) ATL細胞がCD30陽性の場合 (多剤併用化学療法はCHP (シクロホスファミド、ドキソルピシン、プレドニゾロン) に限定)
5) 70歳以下の場合。同種造血幹細胞移植の適応となる患者への移植前モガムリズマブ使用は、移植片対宿主病による死亡リスクを高める可能性が報告されており、risk/benefitを慎重に判断する
6) CHOP (シクロホスファミド、ドキソルピシン、ピンクリスチン、プレドニゾロン) 7) 皮膚病変を有する場合 8) 末梢血病変を有する場合
9) 前治療でPR以上の効果が得られた患者への維持療法

リンパ腫グループ：末梢性T細胞リンパ腫

治療開発マップ 2026.03.

対象		標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 /適応外薬
初発	CD30 陰性	CHOP-21 	JCOG2210 未治療末梢性T細胞リンパ腫 ランダム化第III相試験 経過観察 vs. 自家末梢血幹細胞移植併用大量 化学療法 2024.6～	未治療末梢性T細胞リンパ腫に 対するHDT with ASCTのラン ダム化第III相試験（Lysa、 ECOG-ACRIN）	
	CD30 陽性	BV + CHP 			
再発	65歳以下 救援化学療法および 自家末梢血幹細胞移 植併用大量化学療法	66歳以上 救援化学療法		ニボルマブ 第II相試験（九州大学他） ゴルカドミド 第I/II相試験（BMS）	ベリノスタット クリゾチニブ ⁴⁾
	プララトレキサート	ロミデプシン			
	フォロデシン	BV ²⁾			
	モガムリズマブ ³⁾	アレクチニブ ⁴⁾			
	デニロイキン・ジ フチトクス	ツシジノスタット			
	ダリナパルシン				
	バレメトスタット				



第I相試験については記載していません

- 1) PTCLを含むaggressive lymphomaを対象
- 2) CD30陽性の場合
- 3) CCR4陽性の場合
- 4) ALK陽性未分化大細胞リンパ腫の場合
- 5) AITL, 濾胞性ヘルパーT細胞リンパ腫の場合

BV（ブレンツキシマブ・ベドチン）
 CHP（シクロホスファミド、ドキシソルピシン、プレドニゾロン）
 CHOP（シクロホスファミド、ドキシソルピシン、ビンクリスチン、プレドニゾロン）

リンパ腫グループ：節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型

治療開発マップ 2026.03.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 / 適応外薬
臨床病期 IE	<p>鼻腔(周辺)限局:</p> <p>アントラサイクリンを含まない化学療法と放射線治療の同時または逐次的併用療法</p>			
臨床病期 IIE	<p>JCOG0211-DI (RT-2/3DeVIC)</p> 			
臨床病期 IIIE				
臨床病期 IV	<p>L-アスパラギナーゼを含む化学療法(SMILEなど)</p>			
再発	<p>アテゾリズマブ</p> 		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>再発難治性末梢性T細胞リンパ腫に対するニボルマブ医師主導臨床第II相治験 (West-JHOG, CReS九州)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>ゴルカドミド第I/II相試験 (ブリストル・マイヤーズ スクイブ)</p> </div>	<p>オキサリプラチン ペムブロリズマブ ニボルマブ</p>

SMILE (デキサメタゾン、メトトレキサート、イホスファミド、L-アスパラギナーゼ、エトポシド)
DeVIC (カルボプラチン、エトポシド、イホスファミド、デキサメタゾン)

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 / 適応外薬
くすぶり型骨髄腫	<p>無治療経過観察</p> <p>D (高リスクが主な対象)</p>		<p>イサツキシマブ+Ld vs Ld P3(サノフィ)</p>	
多発性骨髄腫 (64歳以下)	<p>抗CD38抗体-BLd 自家末梢血幹細胞移植併用メルファラン大量療法 「抗CD38抗体-L維持療法」またはイキサゾミブ維持療法</p>		<p>D-BLd ASCT vs D-BLd Cilta-cel P3 (ヤンセン)</p> <p>自家移植後、Iberdomide vs L P3 (BMS)</p> <p>自家移植後、Elra vs L P3 (ファイザー)</p>	<p>カーフィルゾミブ イキサゾミブ サリドマイド ボマリドミド BCMA標的治療</p>
多発性骨髄腫 (65歳以上)	<p>D-MPB-D維持</p> <p>D-Ld</p> <p>抗CD38抗体-BLd (Fitが対象)</p>	<p>JCOG1911 1 D-MPB療法後 D維持 vs. D-B維持 ランダム化第III相試験 2021.1 ~ 2025.3.17</p>	<p>BLd Ld vs BLd Cilta-cel P3 (ヤンセン)</p> <p>二重特異性抗体 ・ Elra + D-L vs Elra + L vs D-Ld P3 (ファイザー) ・ Tec + D-L vs Tal + D-L vs D-Ld P3 (ヤンセン) ・ D-Ld linvo vs D-Ld P3 (リジェネロン) ・ Etentamig + D vs D-Ld P3 (AbbVie)</p> <p>Bela + Ld vs D-Ld P3 (BMS)</p>	<p>カーフィルゾミブ イキサゾミブ サリドマイド ボマリドミド BCMA標的治療</p>

B (ボルテゾミブ)
d (デキサメタゾン)
D (ダラツムマブ)
L (レナリドミド)
I (イサツキシマブ)
MPB (メルファラン+プレドニゾロン+ボルテゾミブ)

Cilta-cel (シルタカプタゲン オートルユーセル)
Elra (エルラナタマブ)
Tec (テクリスタマブ)
Tal (タルケタマブ)
Linvo (リンボセルタマブ)
Bela (ベランタマブ マホドチン)

1 JCOG1105 (至適なMPB療法を選択するためのランダム化第II相試験 2016/4 2019/4) を受けて、JCOG1911を計画・実施した。

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬 / 適応外薬
再発・治療抵抗性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> Bd 2 Td 2 Ld Pd Cd </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Ld+ (イキサゾミブ or B or C)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;">BPd</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;">ダラツムマブ+ (Bd or Cd or Ld or Pd)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">イサツキシマブ± (Cd or Pd or d)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">エロツズマブ+ (Ld or Pd)</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">Bela + (Bd or Pd)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">プロテアソーム阻害剤、免疫調節薬、 抗CD38抗体の3クラス既治療例</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> CAR-T細胞療法 Ide-cel Cilta-cel </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 二重特異抗体 Elra Tec Tal </div> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">CAR-T細胞療法</p> <ul style="list-style-type: none"> • OPC-415 P1/2 (大塚) • Arlo cel P3 (BMS) • Arlo cel P2 (BMS) • Anito cel P3 (ギリヤド) • AZD0120 P3 (アストラゼネカ) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">二重特異抗体</p> <ul style="list-style-type: none"> • Elra vs (EPd / BPd / Cd) (ファイザー) • Elra vs Elra+D vs DPd (ファイザー) • Tec vs (BPd / Cd) (ヤンセン) • Tal+P vs Tal+Teq vs (EPd / BPd) (ヤンセン) • Tal + DP vs Tal+D vs DPd (ヤンセン) • Etentamig vs (Kd/Epd) (AbbVie) • Linvo vs EPd (リジェネロン) • Linvo P2 (リジェネロン) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">CELMoDs</p> <ul style="list-style-type: none"> • Iberdomide+D+d vs D-Bd P3 (BMS) • Mezigdomide+Bd vs BPd P3 (BMS) • Mezigdomide+Cd vs Cd P3 (BMS) </div>	<p>Selinexor Melflufen</p>

B (ボルテゾミブ)
d (デキサメタゾン)
D (ダラツムマブ)
L (レナリドミド)
T (サリドマイド)

P (ポマリドミド)
C (カーフィルゾミブ)
I (イサツキシマブ)
E (エロツズマブ)
Bela (ベランタマブ マホドチン)

CAR (chimeric antigen receptor)
Ide-cel (イデカブタゲン ビクルユーセル)
Cilta-cel (シルタカブタゲン オートルユーセル)
Arlo-cel (アルロカブタジン オートルユーセル)
Anito-cel (アニコカブタジン オートルユーセル)

Elra (エルラナタマブ)
Tec (テクリスタマブ)
Tal (タルケタマブ)
Linvo (リンボセルタマブ)
CELMoDs (セレブロンモジュレーター)